

2024 年度 JCulP Summer Session アンケート結果

2024 年度に参加した学生からのアンケートの結果を掲載していますので、参考までにご覧ください。
なお、2017～2023 年度のアンケート結果は文化構想学部のウェブサイトよりご覧いただけます。

「早稲田大学文化構想学部」を Web 検索 ⇒ Topics トピックス
⇒ Global Studies in Japanese Cultures Program (JCulP: 国際日本文化論プログラム)
⇒ Summer Session)

目次（大学別）：

Aarhus University	P.2～3
SOAS, University of London	P.4～8
University of Adelaide	P.9
University of California, Berkeley	P.10～12
University of California, Los Angeles	P.13～20
University of Sussex	P.21～22
Yale University	P.23～24

<Aarhus University>

Summer Session の手続き方法（早稲田大学・留学先）について、気になった点などをご記入ください。

- 個人申請ですが、2 校に 1 年生だからという理由で断られました。しかも、ホームページには一言も書いていないのに、一校は 4 月中旬になって言ってきました。かなり憤りを覚えたので、これから行く皆さんは詳細まで、行く大学と合意してから手続きを始めると良いと思います。

当該大学・プログラムを希望した理由をご記入ください。

- 非英語圏に行きたかったのが一番です。続いて、世界一幸せな国であるデンマークを見たかったからです。

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）の感想をご記入ください。

- クラスメイトは様々な国からきていました。日本人は私だけで、他にはイギリス人、アメリカ人、オーストラリア人、イタリア人、ドイツ人、デンマーク人、中国人などがいました。
授業内容としては、ほぼ毎回ネゴシエーションのエクササイズがありました。最初は車を売り買いするところから始まり、最終的には北海に建てる風車を売りました。教授はとても優しく、フレンドリーで何事も肯定してくださり、満足度アンケートを取ったりして生徒が授業を受けやすい環境がありました。
授業レベルは、英語の他に頭の柔らかさや発想力が必要でした。TOEFL の点数が設けられていますので、それを取れるなら英語力は心配ないかと思います。

留学生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）の感想をご記入ください。

- 宿舎ではデンマーク人の皆さんと沢山話すことができました。とても楽しかったです。
気候は平均 18 度くらい。たまにバケツをひっくり返した様な雨が局地的に降ります。そしてよく狐が嫁入りをします。だんだん濡れるのは気にならなくなります。
食事は、外食はとても高いのでほぼ自炊です。あとはスーパーのパンコーナーが安くて美味しかったです。少々耐えられないのはシャワーです。トイレの便器と洗面所とシャワーが同じところにあります。つまり、一回シャワーを浴びるとトイレの床が水まみれになり、一時間ほどトイレに行けなくなります。
治安はとてもいいです。日本よりいいかもしれません。ビーチに泳ぎに行きましたが、荷物はすべて砂浜において行っても大丈夫だよと言われました。
交通はバスとトラムがあります。両方ともミッドトラフィックというアプリでチケットが買えます。ミッドトラフィックライブでは、バスがどこにいるのかがリアルタイムでわかります。
携帯電話は e-sim を使いました。
余暇の過ごし方は、オフィスはとても時間がゆっくり流れている場所でした。ビーチでゆったりしたり、町を散歩したりしていました。大都会東京に疲れた方にはぴったりの場所です。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについてご記入ください。

- 英語も勿論のところ、ネゴシエーションにおいて大事なこと（気になる方はぜひオースに）そして幸せとはなにかを学んだ気がします。日本は私の大好きな場所です。この国に生きる人たちがもっと幸せでいられるように努めたいと思いました。

次年度の学生に伝えたいこと（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）をご記入ください。

- 私は本当に楽しく幸せな夏をオースで過ごしました。陽気なデンマーク人と話しながら田舎でゆったりできる場所です。授業は頭を使いますし疲れますが、行きたくないとは一度も思わず実に有意義な時間でした。基本はデンマーク語しか書いていないのでグーグル翻訳があなたの相棒です。ですが困ったことがあったら、人に聞くといいです。道行く人も寮の人も教授もみな笑顔で快く答えてくれます。必要なのは楽しむ心と聞く勇気です！！（と言っても私はかなり内気な人間なので心配はいりません）もし、何か聞きたいことがありましたら、連絡してください。

<SOAS, University of London>

Summer Session の手続き方法（早稲田大学・留学先）について、気になった点などをご記入ください。

- SOAS は他の大学よりも入学許可等の手続きの進みが遅く、何の連絡もなかったため予定通りできているのか不安でした。何度もメールを送って確認しないと返信が来ないこともありました。また、留学先大学の Web サイトに詳細があまり載っていなかったため時間割等が現地に着くまでわかりませんでした(問い合わせれば個別に教えてもらえますが)。早稲田大学の担当の方は、不安だったので何度も確認しに行きましたが毎度親切に対応してくださりました。また、メールの返信も早かったのが安心でした。また、summer session にかかる費用がとても高く、自費で入学後いきなり払わないといけなかったのは困りました。入学前にもう少し具体的に目安の金額を提示しておいて欲しかったです。後出しされた気分でした。
- 現地大学からの連絡がとても遅かったため留学準備に手間取りました。クラスメイトが準備を進めている中 SOAS 組は連絡待ちという状況が長かったのですが、担当してくださった留学センターの方と相談しながら進めることができたので最終的に手続きを完了することができました。
- 海外大学からのメールの返信が遅いため、気になったことはなるべく早く相談しないと時期的な問題が起こる可能性がある
- ロンドン大学からの返事や連絡があまり来なかったのが、不安になった。

当該大学・プログラムを希望した理由をご記入ください。

- SOAS は都心にあり、放課後や週末に色々なところに出かけられるため。また、イギリスはビザがいらず、手続きが少なくて済むため。もちろん授業内容が面白そうだったから。
- 自分はアメリカに以前住んでいたためせっかくの留学は新しい環境で学んでみたいと思い、自分の興味ある分野の授業が提供されている SOAS を希望しました。特に履修した Block 1 はアートの授業で、ヨーロッパの美術について学び実際に美術館へ行って現物を見ることができる環境が魅力的で選びました。Block 2 の文学の授業は個人的にアメリカの文学の授業とイギリスの文学の授業を比較してみたいと思い履修しました。
- 私が興味のある文学・芸術関連の授業が多くあったこと、またその他の選択肢(主にアメリカの大学)と比較して交通網が発達しており日本とは違う都市・社会の在り方を学べたこと
- イギリスに行きたかったから。特にロンドン。

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）の感想をご記入ください。

- ブロック 1 はアートの授業をとりました。10 人程のクラスで日本人と韓国人が半々くらいでした。授業レベルは割と簡単ですが、ディスカッションやコミュニケーションの機会が多かったです。また、

授業中に色々な美術館に行けて楽しかったです。メジャーな美術館はほとんど授業で行けます。他の授業だと、放課後に行こうとすると美術館の閉館時間に間に合わないことも多いので、授業内に行けたのは良かったです。担当の先生方がとても愛に溢れた素敵な先生でした。

ブロック2は文学の授業で、6人のクラスで5人日本人、1人コロンビア人でした。世界の文学を通してジェンダーやオリエンタリズムについて考える授業でした。英語のクラスではありませんが、授業内容よりも英語力にフォーカスしたようなレクチャーレビューが多くありました。また、プレゼンの仕方で1時間かけてアイコンタクトをすることやゆっくり話すことを教えられ、馬鹿にされているようで不愉快でした。

全体的に様々な学部学年の人や社会人もいて、日本人が多い中でも良い出会いが沢山ありました。

- 授業内容：授業内容はJCulPにとっても近い内容で今後活かせるような学びが多かったです。Block 1のArt of the World in Londonの授業ではルネッサンスから現代美術までの美術史を学ぶと同時に、美術品・美術史の背景や、美術を「見る」ということの責任、危うさ、大切さなどについて学びました。Block 2のWorld Literature in Londonでは数々のジャンルについての勉強から作品の文化的・歴史的背景、文学に対する接し方について学びました。どちらの授業もとても興味深く、価値観や視点を広げるいい経験でした。授業レベル：英語レベルとしては低めだと感じました。講義はアカデミックなので学びがいのあるものでしたが、英語のサポートが必要な人でも参加できるような感じでした。英語に自信がある方は物足りないと感じると思います。クラスメイト構成：Block 1では韓国人留学生が多かったです。私のクラスでは自分を含め日本人が4人、そして韓国人が5人でした。Block 2になると今度は日本人がほとんどで、私のクラスでは日本人5人にコロンビア人が1人と少人数にも関わらずほぼ日本人でした。現地学生との交流はなく、授業外でも日本語で日本人留学生と交流することがほとんどでした。課外活動：課外活動は基本的になく、放課後は各自寮へ帰るか観光するか、比較的自由な時間を送っていました。
- 少人数制でアジア人が大半だった。授業ではアウトドアワークで美術館を巡ることが多く、難しい英単語は必ず説明してくれるため理解の上で困ることはあまりなかった。宿題も基本的には少なく、最終プレゼンをちゃんと準備すれば問題なく修了できると思う。
- 授業も楽しく、素晴らしいクラスメイトにも出会えた。日本人がとても多かったが、帰国後も会うくらいの仲になれた。

留学生生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）の感想をご記入ください。

- 寮は1人部屋で水回りも1人ずつあるので快適でした。床がカーペットなのでほこり臭かったり換気があまりできずシャワールームにカビが生えたりしましたが、6週間なので大きな問題ではありませんでした。フラットはできるだけ同じ人種でまとめられているようです。キッチンが共用なので使い方や清潔感に共通認識がないとストレスにはなりますが、設備自体はしっかり使えるので料理できます。外食は高くて美味しくないので3食自分で作っていました。調味料等はない

ので最初にフラットの皆で一緒に買いました。

気候は幅がかなりあるので、半袖に長袖の上着を中心に、プラスで薄いダウンを一つ持っておくと丁度良いです。

街の様子は、人が多くてタバコ臭くて汚いです。寮がロンドンの中心部にあるので階数が低いと夜中でもサイレンや叫び声が聞こえてうるさいです。ただその分ほとんどの観光地は頑張れば歩ける距離にあり、バスや電車も近くで乗れるので便利です。

- 寮はフラット制で、一つのフラットに共有キッチンが一つに個室が 5 つという感じでした。自分がいたフラットは全員日本人だったため比較的過ごしやすかったと思います。共有キッチンで使用する調理道具やカトラリー、食器・コップ、フライパン、お鍋、食器洗剤とスポンジは寮が支給してくれるため購入する必要はありませんでした。フラット全員で協力して使用するという感じです。

食事は基本自炊で、近くのスーパーで食材を買い自分の食べる分を作っていました。現地のスーパーの他にアジアマーケットが近くにあったので、値段は張りますがお米や冷凍うどんなどを買って食べていました。日本からフリーズドライ商品などを持って行ったもののあまり手をつけることなく、現地の食材でなんとかしました。

気候は夏なのに寒い日が多く、薄手の長袖を現地で数着買うほどでした。また雨が降ったり止んだりするので折り畳み傘は必須です。暑い日が続いた際は寮と大学の古い教室にはエアコンがなかったため少し辛かったですが、日本に比べて乾燥しているのでまだ過ごしやすいかと思いました。

治安は普通で、自分の荷物と貴重品にさえ注意していれば快適に過ごすことができました。もちろん夜遅くに出歩くのはお勧めしませんが、午後 9 時過ぎまでは日が沈まないのも明るい間は比較的遅くまで外に出ていても大丈夫でした。交通機関もとくにロンドンでは整っているのでバスや地下鉄を利用して遠出することもできました。

寮の Wi-Fi は問題なくスラスラ使うことができました。繋げ方などは説明してもらえないので、自分の部屋にある Wi-Fi ルーターに書いてある説明を読んで自分で繋げる必要がありました。大学の Wi-Fi は一度繋げてしまうと他の大学でもつながるものなのでとても便利でした。接続方法が少しややこしかったのでテクノロジーセンターへお願いした方が早かったかなと思います。ロンドン全体で言うとデータ通信がとても遅いです。特に観光する際使用する Google マップへの接続が悪く苦戦しました。

- 私は七月の初めから行ったが、最初の二週間は涼しく、夜は寒と感じるくらいの気候だった。宿舍の寝具はベッド・枕・ブランケット一枚のため少し暖かめの服装も用意した方がいいと思う。日本と違うウイルスがいるせいか、同期のメンバーは自分も含めて全員一度は熱を出していたので風邪薬は必ず持った方がいい。食事が高いが場所を選べば悪くはない。自炊するならお米が最もコスパがいいので炊飯器を持っていくことをお勧めする。治安・交通も良い方だった。
- 最初は戸惑ったが次第に慣れていった。噂で聞くほどご飯は不味くない。ロンドンは物価がとても高いのでそれだけがマイナス要素である。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについてご記入ください。

- 授業内容が JCulP に直接活用できる内容だったので、授業での発表やリサーチの際に、SOAS で培った美術と文学における視点をもって取り組みたい。

- 自分にとって新しい環境で学んだ新しい価値観や視点、そしてそれらを持つ個人としての責任を再認識し、Global Studies とはなんなのか、JCulP の授業でさらに広がった考えをもって取り組むことができると思います。また、授業だけでなくこれから関わる人や文化へ今回の経験を活かした多種多様な接し方・捉え方を心がけようと思います。
- 海外の芸術に関する価値観や文化の違いを学んだことはこれから日本文化を掘り下げていくうえでも活かせると思う。また、日本語の通じない相手に、母国語に逃げずに英語でどうにか説明する体験をしたことは OS と関わっていく上でも役立つと考えている。
- 色んな人と出会えた。それこそが一番の収穫である。今後も色々なイベントや催し物に参加して、輪を広げていきたい。

次年度の学生に伝えたいこと（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことなど）をご記入ください。

- 必修の留学ではありますが、留学に行って自分が何をしたいのか、どうしてその留学先を選んだのかが明確にあると、その目的を達成しようとする中で楽しい留学生活を送ることができると思います。
また、留学生は基本皆寂しくて友達を欲しているの、とにかく色々な人に笑顔で話しかけると意外と簡単に仲良くなれます。そうすると楽しいです。
- 手続きについて：SOAS は基本的に連絡が少なく、何よりとても遅いです。クラスメイトが履修登録や寮の手続きをしている中 SOAS 組は連絡待ちという状況で、特に海外が初めてと言う方は不安になると思います。最終的には出発までに準備を終えることはできるので、連絡待ちの時間を現地の天気や観光地を調べるのに充てるのをお勧めします。また、留学に必要なかもしれない書類（英文残高証明書など）の発行手続きを自分で進めるのもいいと思います。
寮生活：現地に到着して寮の受付で鍵をもらった後、基本的になんの説明もありません。どこに何があるのか、ハウスキーピングはいつくるのか、Wi-Fi はどうやって繋げるのかなど、全て手探りでなんとかするしかありませんでした。もちろん受付の方に質問できますが、受付の方もサッとしか説明してくれないので、周りの留学生の方と協力しながらなんとかすることをお勧めします。
ハウスキーピングは毎週一回、ベッドシートと枕カバーの交換、バスタオルとフェイスタオルの交換、そしてトイレトペーパーの補充をしにきてくれるので基本的に個室は清潔に保つことができます。ハウスキーピングのお知らせの紙がフラットの入り口のドアに毎週はられるので日時も確認することができます。ただ、自分はトイレが流れなくなったり、部屋の電気がつかなくなったり、他の人はシャワーが水しか出てこなくなったりなど、故障が多々ありました。何かあった場合は自分から寮の受付に行き修理を申請しなければいけませんでした。基本的に 1 日で治るのでそこまで心配する必要はありませんが、故障する場合があることを知っておくといいかと思います。
洗濯はランドリールームが寮の入り口近くにあるので、洗濯物をそこまで持って行き利用するという感じでした。自分の部屋とランドリールームを行き来するのに一度建物の外へ行かないといけないので、透けないランドリーバッグを持っていくことをお勧めします。洗濯機と乾燥機は連動している専用のアプリを携帯にダウンロードし、アプリ内にお金をチャージし、機械を操作し、決済する形式でした。ただ、現地についてから約 2 週間後ぐらいに急にアプリが洗濯機と連動しなくなりました。ランドリールームに設置してあったタッチパネルを利用して洗濯することができたので留学が

終わるまで問題なく選択・乾燥はすることができましたが、最初に使っていたアプリへチャージしたお金は返ってきませんでした。後から聞いた話だとアプリが変更になったらしく、新しい方を使うかランドリールームのタッチパネルを利用しないといけなかったそうです。寮の管理人や受付の方からはなんのお知らせもなかったので気をつけてください。

- ロンドンに行くなら、寮の最寄り駅からのアクセスが非常にいいので余暇で旅行を楽しむと良いと思う。寮にはシャワーヘッドがないので必要だと感じるなら持って行った方がいい。でないと滝行のようなシャワーを毎日浴びることになる。
- 人と積極的に交流するべきである。世界が広がる。人生に豊かさを齎す。

<University of Adelaide>

Summer Session の手続き方法（早稲田大学・留学先）について、気になった点などをご記入ください。

- 個人申請なのではないのかもしれないが、手続きを何も手伝ってくれなかった。

当該大学・プログラムを希望した理由をご記入ください。

- 料金が安かったから、またオーストラリアのアクセントが好きだったから。

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）の感想をご記入ください。

- 一番上のクラスだったが簡単だった。アカデミックな内容を勉強するのではなく、英語の四技能を鍛える感じだった。

留学生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）の感想をご記入ください。

- ホームステイした。バスで 30 分ほどで学校についた。Wi-Fi はどこにでもあった。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについてご記入ください。

- OS の人たちと積極的に英語でコミュニケーションをとる。

次年度の学生に伝えたいこと（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことなど）をご記入ください。

- 洗濯の回数が少ないので、下着を多めに持っていくべき。

<University of California, Berkeley>

Summer Session の手続き方法（早稲田大学・留学先）について、気になった点などをご記入ください。

- Getting the Visa was the most difficult / time consuming part of the whole process. Getting all the documents ready, taking a photo, アメリカ大使館での面接の予約など……But overall I didn't have much issues regarding 手続き.

当該大学・プログラムを希望した理由をご記入ください。

- 英語「を」勉強する授業ではなくて、英語「で」勉強する授業をとりたくてバークレーにしました。天気も涼しいと聞いていたので、日本の蒸し暑さから逃れたい気持ちもありました。寮 (ihouse)の評判も良かったです。

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）の感想をご記入ください。

- The classes I took (introduction to archeology & global perspectives in contemporary art) were relatively easy. As for assignments, there were a couple of small quizzes for my archeology class and a final presentation but that was it. For art, we just had some discussion posts to do and a small project at the end. However, for both classes we had lots of reading to do. Most of the students were local students, only a few were overseas student like me. So if you want to make friends who live in the area, Berkeley might be ideal.

留学生生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）の感想をご記入ください。

- There were a couple of dorm options, but I chose ihouse because their reviews were good.
- It only takes 5 mins by foot to get to the campus (it also depends on which building your classes are in, but for me, both of my classes were held in the same building, and it was very close fortunately)
- They have a buffet style dining hall where all the dorm students eat breakfast, lunch, and dinner (and brunch on the weekends). Really good if you have a

certain diet due to allergies, religion, etc.

- During the day it can be a bit chilly, but if you're spending a long time in the sun it can get a bit hot. At night it's very cold. I brought a few long sleeves, some short sleeves, and a zip up hoodie, which worked perfectly for me. There was no AC in my room but I slept very comfortably.
- In ihouse you have a few room options: single room, double room, or a big double room. I chose the cheapest option which was the normal double room. I got lucky so it was pretty spacious, and my room mate and I had separate beds. But when I visited my friend's double room they had a bunkbed and it was really cramped up.
- The toilets and shower room are shared within the people in your floor. They were cleaned every day.
- There is a game room where they have a pool (8 balls) some cards and board games as well. The great hall is open 24hrs. There's also a kitchen with an oven.
- Wifi was great. They have in the dorm and there's also a wifi for the campus as well. I only used my data when I went touring.
- The nearest Target (like a small supermarket) was over 20 min by foot. And it's located at Downtown Berkeley, which is at the very bottom of a steep road. On the way down to Target it's not so bad but the way back up was very tiring. I suggest making use of the bus.
- キャンパス内やすぐ周りの外周は治安良かったです。夜間の Downtown Berkeley は少し治安悪かったです。昼間は全く問題ありません。私は、夜出歩く時は友達と常に一緒でした。"

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについてご記入ください。

- 授業での内容はもちろんですが、授業外での学びもたくさんありました。バークレーの歴史や土地についてなど、現地の人と関わったからこそ得られた知識がありました。
- I was also exposed to a wide variety of people from all over the world. I feel

that talking to and interacting with people is the quickest way to learn / understand a culture.

**次年度の学生に伝えたいこと（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておく
とよいことなど）をご記入ください。**

- Make use of the free gym, swimming pool, basketball court, tennis court, bus, and other facilities. You just have to make sure to bring your student ID.
- If you want to go out at night, bring a friend with you always. Especially if you're a girl.

<University of California, Los Angeles>

Summer Session の手続き方法（早稲田大学・留学先）について、気になった点などをご記入ください。

- 特にありません。
- アメリカで勉強する際必要になるビザはあらかじめ早い内にとっておくべき。大使館の HP が複雑な上にサイトが落ちやすいのが難点なので時間に余裕を持って申し込むべき。
- UCLA のアカデミックの場合、6 週間、8 週間、10 週間の中から選べたのですが8と10週間のコースは私たちが受けることのできる授業が課外学習、オンライン又はインターンなどと単位認定できるクラスがあまりなく最終的に選択できるのは6週間のコースだけでした。
- 10 週間、8 週間と記載されていたが、実際その期間のコースには単位認定されないものばかりで、期間が他大学より多いため選んだのに最終的に6週間しか選べなかった点が気になった。
- 早稲田大学留学センターの担当職員の方はとても親身に相談に乗ってくださり、円滑に出願手続きを進めることができました。UCLA からの返信は遅いため、早め早めの行動を心がけると良いと思います。

当該大学・プログラムを希望した理由をご記入ください。

- UCLA からはサンタモニカやハリウッドなどが近くにあり、勉強だけでなく休暇も充実させることができると思ったから。また、国際色豊かな LA という都市に惹かれたから。ESL を希望した理由は英語力をもっと向上させる必要があると思っていたから。
- カリフォルニア大学のロサンゼルス校で盛んな Chicano Studies という学問に魅力を覚え、早稲田では学べないような授業だったので受けたかったから。また、高校の頃から日本の安全保障問題に興味があったため、アメリカ政治に関して本を多く読んでいたが、実際アメリカ現地ではアメリカ政治がどのように教えられているか興味を持ったから。
- 自分で履修する授業を自由に選択できるため、UCLA のアカデミックコースを選びました。また LA という立地が楽しそうだったため。
- 1 番期間が長いコースがあったから。

- カリフォルニアは気候が良かったため。

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）の感想をご記入ください。

- 授業は film, conversation, public speaking の 3 つを取っていました。film の授業では映画からイディオム表現を学んだり、国々の文化について主に学びました。conversation の授業ではアメリカ英語を流暢に話すコツを学んだり、コミュニケーションについて学びました。public speaking では主にプレゼンを英語で効果的に行う方法について学びました。授業レベルはやや易しく、課題を真面目にやっていたら何の問題もなく授業についていけます。クラスメイトは中国人が大半で、その次に日本人が多かったです。
- 授業レベルは選択する授業によって難易度や課題量の差が激しいので一概になんとも言えない。一応 UCLA の授業登録画面にその授業が Lower Division か Upper Division か分かる項目があるが、私がとった 3 つの授業のうち唯一だった Lower Division のアメリカ政治の授業が毎回課題量が多く授業の試験も難しかったため、見極め方が難しい。しかし、押しなべて言えるのは、現地の UCLA 生の授業に参加させてもらえる形での留学プログラムであるため、「留学生のための○○」などといったサポートは一切ないので、留学生のための手厚いケアが欲しい人は UCLA の A6 ではないプログラムを選択しよう。個人的には、現地の大学生たちと同じレベルの授業を受けられる機会はなかなかないため、とても良い機会だった。
- サマーセッション中は各国からの留学生が多いため、クラスメイトはほとんどアジア系の留学生で UCLA の学生は少数でした。私は upper division のクラスを 2 つと lower division のクラスを 1 つの合計 3 つの授業を履修しました。Upper division はやはり lower division のクラスと比べて課題の量が多かったです。内容の難しさと大きな違いは感じませんでしたが、事前のリーディングの量が多く、課題も大きな課題が多かった印象です。私は履修登録の際に lower division で他に興味のある授業がなく、upper division を 2 個履修することにしましたが、早稲田のオンデマンドの最終課題と UCLA の中間課題・テストが重なったためとても大変でした。課題が重なっていた週はほぼラウンジでパソコンに向かう日々でした。早稲田のオンデマンドの課題も考えて、upper division のクラスは 1 個にすることをおすすめします。upper division の授業内容はとても面白く、学ぶことも多くあるので受ける価値は十分あると思いますが、その分 LA やアメリカ国内を観光する時間がなくなってしまうので履修登録の際はよく検討して欲しいです。
- upper division は、3、4 年生が多く授業内容、課題もレベルが高かったが、lower division では、クラスの人数が少なかったということもあり柔軟に個々のレベルに対応してくれている感じがかった。
- 私は三つの授業を履修しましたが、全ての授業が JCulP ほど難しくありませんでした。私のコースが

ESL ということもあり英語の難易度も高くなく、身の丈に合った授業だったと思います。ただ、JCulP 生は必修で来ているということもあり、他の留学生よりも授業数が多く、彼らよりは観光などを楽しむ時間は少ないと思います。課題も授業によっては多いですが、JCulP ほどではないです。留学生の国籍は、中国 7 割、日本 2 割、その他 1 割といった感じです。中国の留学生と話す際は必然的に英語を使うことになるので、語学留学の目的を果たせる環境では合ったと思います。しかし、中国からの留学生は授業中も中国語で話し始めてしまうことが多くグループワークなどで自分以外全員中国人になってしまった際はかなり厳しかったです。自分が英語で話しかけても中国語でディスカッションが始まってしまい、最終的には私も翻訳機を用いて中国語でディスカッションをしていました。日本人の生徒とグループになることもしばしばありましたが、授業中は日本人同士でも必ず英語で会話をしていました。授業外で困った際は日本語で助け合うなど、程よいサバイバル感があったと思います。

留学生生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）の感想をご記入ください。

- UCLA に留学するなら寮は olympic hall 一択だと思います。寮によっては電子レンジや冷蔵庫、エアコンがなかったりします。（olympic hall には全てあります。）
朝晩は冷えるので防寒着が必要でした。
携帯電話は esim を契約していましたが、softbank で契約していたプラン（アメリカ放題）でそのまま現地でもスマホが使えるので契約内容を確認しておけばよかったと思いました。
バスルームの床は不潔に感じたのでシャワーを浴びる際はビーチサンダルが必須です
高熱で 4 日間身動きが取れなかった時に遠慮して誰にも頼ることができなかったのですが、サポートデスクに相談だけでもしておけばこんなに苦しまなくてよかったんじゃないかと後悔しています
- 寮は Olympic Hall の三人部屋に泊まった。ルームメイトと仲良くなれる良い機会ではあるが、私の場合はうち 1 人のルームメイトと就寝時間に関してのトラブルが最後まであったため、あらかじめルームメイトと方針を話して固めるとトラブルが避けられるだろう。気候は大変涼しいため、パーカーやスウェットを持っていくことを勧める。食堂のご飯も大変おいしく、キャンパス内やキャンパスから少し離れた所にも多くのレストランがあるので飢えの心配はない。
- カリフォルニア州では大麻は合法なため、寮の廊下やキャンパスを離れた市街地が時折大麻くさく、LA 市内中心部ではホームレスが多くみられるので人によっては動揺してしまうかもしれないが、そのうち慣れるでしょう。しかし、夕方以降に外出するとウリっている人が多くなるので、夜間の外出は安全を考慮して極力避けましょう。安全は交通手段にかけるお金に比例する。ロサンゼルスは基本車社会なので徒歩はあまり現実的な手段ではない。メトロは時間帯に限らず治安が悪めなのでおすすめではない。バスは UCLA の窓口経由で PASMO のようなカードが発行できるので便利であり、よく乗る。夜遅くにバスに乗ると治安が悪くなるため気をつけるべき。値段は高いが、一番いいのは Uber な

のでアプリを事前にダウンロードしておくことを勧める。

- 私は Olympic Hall の三人部屋に泊まりました。この寮は特に韓国人と中国人が多くいましたが、私のルームメイトは二人ともアメリカ人でとても楽しかったです。週末一緒に出かけたり、放課後キャンパスの外に夕食を食べに行くなどしました。Olympic Hall 以外に Centanial Hall がありますが、そこはサマーキャンプに参加する小さい子供も宿泊しているのでうさそうです。Saxon Suites は建物も素敵でベッドルームとは別にリビングルームがあるのでそこも広く快適そうです。Olympic Hall は建てられたばかりで新しかったので、どこも綺麗でした。部屋のベッドは全て二段ベッドで、一人一個クローゼットがありました。クローゼットにハンガーはなかったので、私はクローゼット内の床に服を置いていました（必要な人は少し持っていくか向こうで買うことをおすすめします）。クローゼットの他にも一つ引き出し 6 段くらいのたんすがあったり、片方の二段ベッドの下にも引き出しがありました。収納は多かったです。机も一人一つあり、机に鍵がかけられる引き出しが一つあったのでそこに貴重品を保管していました。鍵は用意されていないので私はたまたま持って行った百均のワイヤー式ダイヤル鍵を使いました。この鍵は持っていくことをおすすめします。バスタオル、枕、タオルケット、シーツは用意されていました。タオルケットは薄く、硬く、触りごちがよくないので、エアコンが効いていると寒いです。そのため家からブランケットを持っていくことをおすすめします。食事のミールプランは毎週 14 食もらった Bruin Card（学生証のようなもの）をスワイプして食べれるものでした。基本は朝、晩の 2 食ですが、朝ごはんを逃した時はその分をお昼ご飯で使ったりできました。朝と晩使わなければいけないという決まりはなく、外出した日の分とかは平日の昼などに使うことができたので、無駄なく利用できて便利です。
- キャンパス内の治安はとても良かった。落とし物しても届けてもらうことがあったり、物を置いていても盗まれたりはしなかった。Wi-Fi も常備されていて大きな不具合はなかった。食事も、特に大きな問題はなかったので、全体的にとっても安心してキャンパス内では安心して過ごせた。
- 治安は日本と比較すると非常に悪いです。私の滞在中には性犯罪指名手配犯が学校内で確保されました。学校の周辺の町は他の地域よりも比較的安全ですが、それでも昼夜問わずホームレスや薬物中毒と見られる人間が往来しているので、慣れるまでは友人と常に行動していました。ただ、基本的にそういった連中から危害が加えられることはあまりないので、気にしすぎる必要はないと思います。UCLA 周辺以外の地域、例えばハリウッドやリトルトーキョなどに行く際は、あまり一人で行動しないほうがいいです。悪質な詐欺師、UCLA のそれよりもアグレッシブでこちらに危害を与える可能性のある浮浪者・諸々の犯罪が間近にある地域です。特にハリウッドは、ハードロックカフェや劇場の並ぶ栄えた場所は比較的安全（詐欺師はいる）ですが、五分ほど通りを直進すると、途端にアウトローを感じる雰囲気になっていきます。少し高いですが Uber を使うのが賢明です。
- ロスの公共交通機関は脆弱です。あなたの留学中、交通について頭を悩まさない日はないでしょう。

ロス公共交通機関は主に Uber, バス, 電車です。Uber > > バス > > > 電車の順で安全です。Uber はかなり割高ですが、やはり安全です。お財布が許すのであれば基本的に Uber を使ったほうがいいです。バスはかなり安いですが、本数が少ない上、治安は少し悪いです。一本逃すとその後の行動全てが遅れ、結局 Uber を呼ぶと言うことが滞在中何度もありました。バスサインもわかりづらいので乗る場所がわからなくてすぐ横にいたのに乗り過ごしたことも度々ありました。やはり人間を Uber よりも多くのせるため、治安は悪めです。私は幸いにもバスジャックなどの犯罪に巻き込まれることはなかったですが、コメディアンを名乗る男に話しかけられたり、奇声を放つ人間と遭遇したことはあります。ただ、やはり安さは魅力的です。存在するため、一応ロスの主要公共交通機関に電車を挙げましたが、あれは乗らないことが長生きのコツなので、基本的にバスと Uber を使うことになると思います。私は二度ほど、中国人の男性の友人と一緒に電車にりましたが、それでもかなり怖かったです。無賃乗車は当たり前、ホームから線路の方に空き缶を投じる男、すれ違ふなり「China!」と大声で叫ばれる、車内を満たす芳しいマリファナの香り....どれをとっても恐ろしい記憶ばかりが蘇ります。後に、Uber の運転手とこのことを話すことがありましたが、現地の住人も滅多なことでは電車に乗らないとのこと。電車は少なくとも一人では絶対に乗らないようにしましょう。以上のように、ロスの交通機関は基本的にどれも少し危険です。Uber は高いですが、友人と割り勘をすれば多少は安くなります。

(私はあまり友人ができなかったのも、しばしば一人で片道 30 ドル以上の運賃を負担していました。) ただ、何人か友人がいればたとえ公共交通機関を使っても人数が増えるほど安全性は増すので、友人をたくさん作ることがアメリカ生活を安全かつリーズナブルに過ごす最大のコツと言えるでしょう。

- 寮は四つ種類がありますが、Saxon Suites(以下 Saxon)を選んではなりません。寮の選択の失敗が、私の留学の失敗をはっきりと形作つたため、あなたの充実した留学生活のために、特にこのパートを熟読することを強く勧めます。
- Saxon の特徴 : Suites スタイルという、四人の人間で一つの共用部分を使用し、寝室は二人のみで利用するという他の寮よりもプライベートが確保されている寮です。シャワーも四人のみで使います。

Saxon の悪いところ :

①設備が悪い : 冷房設備、電子レンジ、冷蔵庫など、照明以外の電化製品が一切ありません。Saxon は UCLA の寮の中で最も高額ですが、Saxon より安い寮の部屋にはこれらの電化製品があります。一応、Saxon に入寮している生徒全員で使用する共用棟にそれらはあるのですが、一度自室を出なければならぬ上に不特定多数が使用した冷蔵庫を使うのはかなり腰が引けました。そのため、Saxon に入寮した場合、食料の保存、簡単な調理はできないと思ったほうがいいです。私はカップラーメンをバッグに詰め込んで日本を発送しましたが、お湯が作れないためほとんど全てを日本人の院生に渡しました。ただ、通常のカリフォルニアの気候であれば冷房設備はなくても快適に過ごせると思います。ある教授は自宅に冷房がないと言っていました。それほどカリフォルニアの気候は過

ごしやすいです。しかし、私の滞在中”だけ”近年稀に見る異常気象で日本レベルに蒸し暑く、空調のない部屋で寝ていた私は背中に無数のあせもをこさえました。

②中途半端なプライベート空間：Saxon ではプライベートが他の寮に比べて守られるため、あるものを使用する同居人が現れました、そう、マリファナです。カリフォルニアではマリファナが合法なため、彼女に非はない(UCLA は学内で使用することを禁止しています)というものの、やはり使用しているところを見るとギョツとします。他の Olympic hall などの寮は Saxon よりもプライバシーが守られないぶん、マリファナを使用できるほど落ち着けないため、他の寮でのマリファナ使用の噂を聞いたことはないです。また、彼女は共用部分で使用していたため、私の寝室までマリファナの匂いが届き、マリファナに包まれて寝る状況に陥りました。慣れない人間からすると著しく不快に感じる匂いです。中途半端なプライバシーが招いた惨事といえましょう。私は幸いにもマリファナの彼女とは異なる寝室を使用していたため、これでもまだマシなほうだと思います。余談ですが、私と寝室を共にしていた同居人はマリファナこそ吸わないものの、凄まじいびきを奏でる人間だったため、私はほとんど部屋に帰りませんでした。Olympic hall は自室の階に自習スペースがあり、深夜でも逃げ場があるのですが、Saxon は無いため大学構内の自習スペースで勉強、軽い睡眠をとっていました。

③安全性が低い：Saxon は自室に入るドアのみにセキュリティがあるため、非常に安全性が低いです。私の滞在中では無いですが、他のタームでは性犯罪があったようです。ランドリーを使用したり、共用部分で電子レンジを使用する場合は必然的に建物の外に出なければならないため、夜の外出は非常に怖かったです。

以上が Saxon を選んではならない主な理由です。ただ、私は特別運が悪く全ての最悪の事態を受け止めていたため、あなたが Saxon に身を寄せた場合に同じことが起きるとは限らないこともあるので、Saxon と他の寮のメリットデメリットを比較して最終的にご自身が Saxon にすると決めたのであればそれでいいと思います。これらの体験記はあくまで参考までに。ちなみに Saxon で私が良かったと感じた点は自販機があることです。(ただし、60%の確率で商品が出てこない) "

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについてご記入ください。

- 英語でのコミュニケーションについて主に学んだので今後のディスカッションで積極的に学んだ戦略を利用してより深い学びができるようにしたい。
- 来年私は日米学生会議に参加したいので、この留学の経験や学びを提出する ES に反映できる。また、英語の論文を読む力がついたので普段の JCulP の授業で発揮できると思う。
- サマーセッションでは中間と期末がしっかりあって、課題やテストなど大変でしたがそこでしか受けられない授業を受けることができ新たな学びができました。私が履修した Celebrity and Social Media and Fame という授業ではアメリカの芸能人、セレブについて学ぶ授業で、メディアでセレブがどのように取り上げられているか。アメリカでのセレブの影響力や権力について学ぶ授業で、日本人の視点からアメリカの芸能人と日本の芸能人の違いを異なる視点から学ぶことができました。この授業から、

メディアと人の関係性について考えることができ、この授業で得た知識はデジタル化が課題となっている今、様々な授業で今後応用できると思います。他にも Urban Planning という LA 周辺の街の発展について学ぶ授業では、歴史や移民など文化的背景を知ることができ、JCulP の授業で活かすことができると思いました。街の発展だけではなく、その裏側にあった移民の扱い、人種差別などよく取り上げられる問題について触れ、学ぶことができたので、今後社会でも役に立つと思います。"

- 英語寮やディスカッション力を日頃の授業でも積極的に発言して活かしていきたい。
- 正直、Summer Session を通して、自覚する程度に英語力が上昇したかと聞かれると違うと答えざるを得ません。ですが、間違いなく度胸と根性はついたと思います。以上に挙げた以外にも、理不尽な経験、恐ろしい経験をいくつかしましたがそれらが全て私の精神力になったと思います。様々な困難を乗り越えて得た強靱な精神は、プログラム終了後に一人カリフォルニアディズニーを三日間こなすまでに至りました。また、日本に帰国した後、そのまま京都に一人で数日間滞在したのですが、日本円が 50 円足りずに危うく無銭飲食をする状況に陥りましたが、その時もアメリカでの経験を活かして解決しました。これを読んでいるあなたが UCLA、あるいは他の大学に留学に訪れたとして英語力が上がるかはわかりませんが、根性はつくと思いますよ。

次年度の学生に伝えたいこと（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことなど）をご記入ください。

- 薬は普段から飲み慣れたものを持っていくこと・困り事があれば教授や友達、大学スタッフにすぐに相談すること
- 恐れなくてたくさんの方に挑戦する夏にしてください。留学先には様々な文化背景や動機をもつ人と出会えて、肌感覚では日本の大学生よりも海外大の学生はとても向上心や意欲が高いため、自分もがんばろうと鼓舞されます。
- 留学では学びだけでなく、現地の生徒と交流を持ち友達になれる機会があります。各国に友達ができ、連絡先を交換して別れたあとも交流できるのは一生の宝物になると思うので、積極的に他の生徒と交流することをおすすめします！また、留学先の大学では早稲田で受けられない授業や、自分の興味のある分野を探究できるいい機会なので、受けてみたい授業を履修してみてください。私はアメリカのセレブについて学ぶ授業や、アメリカの街の発展について学ぶ授業など UCLA だからこそ学べるクラスを取ったのでとても楽しく、この留学を最大限活かした学びができたと思います。科目を選択する際はぜひ、普段受けられない授業、アメリカ/イギリスなど行く国に関する授業などを履修してみてください。現地でその国について学ぶのと、他国からその国について学ぶのは全然違うと思います。海

外のキャンパスは早稲田とは違う魅力があり、敷地が大きく自然も沢山あって雰囲気が異なるので、空き時間に芝生や外のテーブル、プールやジムなどキャンパス内で時間を潰したり、大学内の色々なカフェに行ったり、散歩するなどキャンパスを満喫するのもとてもいいです。アメリカは治安があまりよくないので（特に女の子だと）、現地に着いたらターゲットなどで防犯用のペッパーズプレーを購入することをおすすめします。

- クラスメイトや寮の人は短い期間しか会わない人達なので、恐れず、人の目を気にせずに色々なことにチャレンジをした方がいいと思う。
- これまで長く講釈をしましたが、私が留学に行って失敗したな、と思ったことの原因は全て自分の行動力のなさにありました。もっと積極的に生徒に話しかけていればもっと英語力が上がったかもしれない、早めに部屋替えを申し出れば無用なストレスを受けずに済んだかもしれない、もっとああしていれば、、、と思うことがたくさんあります。そうならないように、皆さんはとにかく一人でも多くの友人を作り、楽しむことを第一としましょう。

<University of Sussex>

Summer Session の手続き方法（早稲田大学・留学先）について、気になった点などをご記入ください。

- 特にないです。ただ留学先からのメールなど、しっかり確認しないと期日に間に合わなかったりすると思います。

当該大学・プログラムを希望した理由をご記入ください。

- イギリスに行きたいと思ったから。

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）の感想をご記入ください。

- 授業は簡単ではないが、難しすぎない程度で、トピックによっては難しいと感じるものもありました。クラスメイトはどちらの授業も10～12人程度でした。課題はエッセイとプレゼンテーションでした。

留学生生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）の感想をご記入ください。

- sussex の設備について不満を感じることは基本的にありませんでした。寮は一人部屋で、かなり綺麗だったと思います。トイレ、シャワーも部屋についていて、週に1回清掃が入るので、清潔です。フラットメイトが8人いて、キッチンシェアする形でした。8人いるのにフライパンが2つしかなくて、それだけ不便でした。気候は夏なのに涼しくて最高でした。食事は fish&chips が美味しかったです。それ以外はあまりです。ブライTONは治安も比較的好い方だと思います。夜中になっても街には警察が常にいる状態だったので安心でした。スマホは友達が sim カードをくれて、その会社と契約して使っていました。週末はいろんなところに遊びに行けて、自由な時間もあったと思います。

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについてご記入ください。

- JculP の授業では学べないようなことも学べてとても意味のある体験だったと思っています。興味のあるものは引き続き勉強したいと思います。

次年度の学生に伝えたいこと（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことなど）をご記入ください。

- summer school に参加するメリットはいろんな国の友達ができることだと思います。友達いっぱい作

りましょう^^ロンドンに旅行する際はスリに気をつけましょう。

<Yale University>

Summer Session の手続き方法（早稲田大学・留学先）について、気になった点などをご記入ください。

- Summer Session 前に提出するフォームがいろいろあったのですが、回答欄がなかったり、選択肢が間違っていたりした箇所がたくさんありました。
- ワクチンを打って申請した後に向こうの大学で確認が取れているのかが曖昧でとても心配だった。
- 特筆すべき点なし。

当該大学・プログラムを希望した理由をご記入ください。

- 英語力を向上させたかったから。
- 大学の知名度そして一回は行って見たかったから。英語の基礎をもう一度学び直したかったから。
- 語学力を向上させるためでなく、英語で特定の科目を学びたいと思ったから。

授業について（授業内容・授業レベル・クラスメイト構成・課外活動など）の感想をご記入ください。

- JCulp の授業に似ていました。
- スピーキングのクラスは簡単だったが他のクラスはとても面白く楽しく授業に参加することができた。
- 授業内容は受講する授業によって異なる。私はノンフィクション記事と脚本についての授業を受けた。ノンフィクション記事の授業では、記事の書き方、フィールドワークの方法、インタビューの方法などを学んだ。裁判傍聴に行くという、貴重な経験ができた。脚本についての授業では、映画業界と脚本について学んだ。どちらも、生徒自身が自発的に活動するものなので、学びの質は生徒に左右される。

留学生活全般について（宿舎・気候・食事・治安・交通・携帯電話・Wi-fi・保険・サポートデスクの活用・余暇の過ごし方など）の感想をご記入ください。

- 寮にエアコンがないため、熱中症になりそうなほど暑かったです。
- 宿舎は冷房がなく夜はとても暑かった。気候は日本と似ていてジメジメしている日が多かったように感じる。気温は日本より2～3度低いくらい。大学の周辺は治安がいいが少し離れると治安が悪そうだった。Wi-fi は大学の敷地内だったらどこでも使えた。毎日何かしらのイベントが用意されていて、休日にはフィールドワークがあって抽選で当たった人がお金を払っていけるシステムだった。

- 【宿舎について】Yale University の Ezra 寮に滞在した。エアコンは無いが、どうしても暑い場合は大学の売店で扇風機が購入できる。ハンディファンを持っていくことを強くお勧めする。複数あると、暑さをしのぎやすいかと思う。私の場合は一人部屋だったが、人によっては相部屋だった。【気候】日中は暑い活動が妨げられるほどではない。私が滞在しているときは急な大雨が降ることがあったので、傘を持参することをすすめる。雨が降ると湿度がかなり上がり、暑くなる。【食事】寮が3食用意してくれるので、基本的には心配することはない。しかし、ほとんどがピザやチキンでありバリエーションは少ない。何食か、インスタントの日本食を持っていくと良い。大学周辺にもスーパーや飲食店がある。【余暇】大学側でツアーを開催しているので、それに参加することをお勧めする。交通、治安についての心配が軽減される。"

今後、Summer Session で学んだことをどのように活かしていくかについてご記入ください。

- Summer Session で学んだことを学校や普段の生活で活かしていきたいです。
- サマーセッションにはいろいろな国から来た人がいて、多くのバックグラウンドや自分が今まで知らなかった他の国について知ることができた。そして仲良くなったのでこれからその国についてのニュースを見たらより興味が持てるだろうし、授業で取り扱った時にはレポートを書く時に実際に連絡をとってみるのもいいと思った。
- Summer Session で学んだこと（インタビュースキル、ディスカッションスキル等）は、今後の研究に活かしていきたい。

次年度の学生に伝えたいこと（留学先でできたこと、学んだこと、気を付けてほしいこと、準備しておくことよいことなど）をご記入ください。

- 授業に関しては、JCulp での授業と似ているため、特別な準備は必要ではありません。生活に関しては、暑すぎて倒れそうになったので、扇風機を持って行くことをおすすめします。（一応学校内の bookstore でも販売してありました。）
- Yale から電車のチケットを取れば2時間でニューヨークに行けることができる。土日は基本休みなので課題が大丈夫そうだったら友達と観光にいくのもいいと思う。寮の部屋にはクーラー、扇風機がないので薄着と手持ち扇風機を持っていくことをお勧めする。3食ビュッフェ方式でたくさん食べられるので日本食が本当にないと生きていけないという人以外は、インスタントなどの食品を持っていく必要はないと思う。食堂ではテイクアウト用の箱を言ったらもらえるのでテイクアウト用のボックスを自分で持参する必要はない。
- ハンディファンを持っていくと良い。飲み物を買いたくないのであれば、水筒を持っていくと良い。大学内に給水所が複数設置されている。